



2021年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年4月14日

上場会社名 株式会社Branding Engineer 上場取引所 東
 コード番号 7352 URL <https://b-engineer.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役CEO (氏名)河端 保志
 問合せ先責任者 (役職名)取締役CFO (氏名)谷邊 紘史 (TEL)03(6416)0057
 四半期報告書提出予定日 2021年4月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(通常開催を見送り、動画配信予定)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年8月期第2四半期の連結業績(2020年9月1日~2021年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期第2四半期	1,913	—	99	—	105	—	68	—
2020年8月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2021年8月期第2四半期 68百万円 (—%) 2020年8月期第2四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年8月期第2四半期	13.24	12.62
2020年8月期第2四半期	—	—

(注) 2021年8月期第2四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2020年8月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年8月期第2四半期	1,225	573	46.5
2020年8月期	—	—	—

(参考) 自己資本 2021年8月期第2四半期 570百万円 2020年8月期 一百万円

(注) 2021年8月期第2四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2020年8月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年8月期	—	0.00	—	—	—
2021年8月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年8月期の連結業績予想(2020年9月1日~2021年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,576	—	68	—	70	—	48	—	9.43

(注) 2021年8月期第2四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年8月期2Q	5,184,240株	2020年8月期	5,173,400株
② 期末自己株式数	2021年8月期2Q	—株	2020年8月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年8月期2Q	5,175,873株	2020年8月期2Q	—株

（注） 2020年8月期第2四半期会計期間については四半期連結財務諸表を作成していないため、期中平均株式数を記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローの概況	2
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法摘要の範囲の変更)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9
3. その他	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大により、社会・経済活動が急速に停滞したことから極めて厳しい状況となりました。経済活動の一部再開に伴い、景気動向に持ち直しの動きが見られたものの、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような経済状況のもと、国内の人材市場については新型コロナウイルス感染拡大後に有効求人倍率が急速に低下しており、先行きは依然として不透明な状況にあります。その一方で当社の事業領域と関連の高いIT市場におきましては、デジタルトランスフォーメーションへの投資案件も増加基調は続いております。ITエンジニアに対する企業の採用意欲は依然として高く、デジタルシフトを進める企業にITエンジニアを提供する当社の役割は、より重要なものになると認識しております。

このような事業環境下におきまして、当社は企業のデジタル化を推進すべく、企業に対し的確なITエンジニアリソースの提供を行うとともに、社員へのデジタル教育を行いたいというニーズに応えるために、ITエンジニアの独立支援を行うMidworks事業、プログラミング学習サービスであるtech boost事業の拡大に注力いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,913,313千円、営業利益99,686千円、経常利益105,704千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は68,542千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産につきましては、1,225,787千円となりました。主な内訳は、現金及び預金が525,812千円、売掛金が566,631千円、子会社取得に係るのれんが29,190千円、敷金及び保証金が39,464千円であります。

負債につきましては、652,753千円となりました。主な内訳は、買掛金が230,160千円、未払金が115,375千円、長期借入金が133,097千円であります。

純資産合計につきましては、573,034千円となりました。主な内訳は、資本金が129,387千円、資本剰余金が129,287千円、利益剰余金が311,336千円であります。

(3) キャッシュ・フローの概況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、525,812千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、6,717千円の収入となりました。主な内訳は、売上債権の増加が144,328千円、法人税等の支払額が8,208千円があった一方で、税金等調整前四半期純利益の計上105,704千円、仕入債務の増加が12,538千円、助成金の受取額が14,052千円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、27,628千円の支出となりました。主な内訳は、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出27,628千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、38,264千円の支出となりました。主な内訳は、株式の発行による収入1,337千円があった一方で、長期借入金の返済による支出39,601千円があったことによるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年8月期の業績予想につきましては、本日公表の「連結決算への移行に伴う2021年8月期連結業績予想の公表に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間
(2021年2月28日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	525,812
売掛金	566,631
その他	23,631
貸倒引当金	△8,176
流動資産合計	1,107,899
固定資産	
有形固定資産	10,125
無形固定資産	
のれん	29,190
その他	9,204
無形固定資産合計	38,394
投資その他の資産	
その他	78,608
貸倒引当金	△15,739
投資その他の資産合計	62,868
固定資産合計	111,388
繰延資産	6,500
資産合計	1,225,787

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間
(2021年2月28日)

負債の部	
流動負債	
買掛金	230,160
1年内返済予定の長期借入金	74,629
未払金	115,375
未払法人税等	44,748
その他	54,743
流動負債合計	519,656
固定負債	
長期借入金	133,097
固定負債合計	133,097
負債合計	652,753
純資産の部	
株主資本	
資本金	129,387
資本剰余金	129,287
利益剰余金	311,336
株主資本合計	570,010
新株予約権	3,024
純資産合計	573,034
負債純資産合計	1,225,787

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自2020年9月1日 至2021年2月28日)
売上高	1,913,313
売上原価	1,280,700
売上総利益	632,612
販売費及び一般管理費	532,926
営業利益	99,686
営業外収益	
助成金収入	4,357
受取補償金	3,642
その他	694
営業外収益合計	8,693
営業外費用	
支払利息	911
株式交付費償却	1,392
その他	371
営業外費用合計	2,676
経常利益	105,704
税金等調整前四半期純利益	105,704
法人税、住民税及び事業税	35,540
法人税等調整額	1,621
法人税等合計	37,161
四半期純利益	68,542
親会社株主に帰属する四半期純利益	68,542

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自2020年9月1日 至2021年2月28日)
四半期純利益	68,542
四半期包括利益	68,542
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	68,542
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
 (自 2020年9月1日
 至 2021年2月28日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	105,704
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5,492
受取利息	△2
支払利息	911
株式交付費償却	1,392
助成金収入	△4,357
売上債権の増減額(△は増加)	△144,328
仕入債務の増減額(△は減少)	12,538
未払金の増減額(△は減少)	5,275
その他	19,105
小計	1,731
利息及び配当金の受取額	2
利息の支払額	△861
法人税等の支払額	△8,208
助成金の受取額	14,052
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,717
投資活動によるキャッシュ・フロー	
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△27,628
その他	△314
投資活動によるキャッシュ・フロー	△27,943
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△39,601
株式の発行による収入	1,337
財務活動によるキャッシュ・フロー	△38,264
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△59,490
現金及び現金同等物の期首残高	585,302
現金及び現金同等物の四半期末残高	525,812

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法摘要の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

当第2四半期連結会計期間において、株式会社Monkeyを子会社化したことに伴い、第2四半期連結会計期間から同社を連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

単位：千円)

	報告セグメント				その他	合計
	Midworks 事業	メディア 事業	tech boost事業	FCS事業		
売上高						
外部顧客への売上高	1,505,596	166,908	183,733	35,650	21,424	1,913,313
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,505,596	166,908	183,733	35,650	21,424	1,913,313
セグメント利益	157,380	58,331	77,546	20,908	3,489	317,656

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、TechStars事業であります。

2. 当第2四半期連結会計期間において、全株式を取得した株式会社Monkeyを連結子会社としており、「メディア事業」セグメントに含めております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	317,656
調整額	△494
全社費用(注)	△217,475
四半期連結損益計算書の営業利益	99,686

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「メディア事業」セグメントにおいて、株式会社Monkeyの全株式を取得したため、無形固定資産にて、のれん29,190千円を計上しております。

(重要な後発事象)

(子会社の設立)

当社は、2021年4月14日開催の取締役会において、以下の通り子会社2社（株式会社Care Technology、株式会社X Investors）を設立することを決議いたしました。

1. 子会社設立の目的

当社は、Midworks事業をはじめ、エンジニアのキャリア循環型プラットフォームを有しております。株式会社Care Technologyにおいては当社の保有する人材集客力を介護従事者に転用することで他社との差別化を図り、事業基盤の拡充が期待されると考えております。

また、株式会社X Investorsにおいては当社の保有する情報発信メディアを活用することで登録単価を抑えた顧客獲得が見込め、当社グループの持続的な成長と中長期的な企業価値向上の実現が期待されると考えております。

2. 設立する子会社2社の概要

名称	株式会社Care Technology	株式会社X Investors
所在地	東京都渋谷区（予定）	東京都渋谷区（予定）
代表者	代表取締役CEO 山田 祐介	代表取締役CEO 柳生 委彦
事業の内容	訪問介護事業	投資用不動産販売事業
資本金	10,000千円	10,000千円
設立の時期	2021年4月（予定）	2021年4月（予定）
出資比率	当社100%	当社100%

3. その他

該当事項はありません。